Press Release:2021.5.14



PACIFIC CARGUY RACING

2021 SUPER GT SERIES
ROUND 2 FUJI Race Report

カテゴリー　:GT300クラス
エントラント名:PACIFIC CARGUY Racing

マシン名　:PACIFIC NAC CARGUY Ferrari
カーナンバー:9
ドライバー　:木村武史、ケイ・コッツォリーノ

Best Lap　:1'36.499
Q1 Aグループ:6位
Q2　:16位
決勝　:25位

開催日　:2021年5月3日～4日
会場　:富士スピードウェイ(一周4.563km)
天候　:3日　☀(Dry)　4日　☀(Dry)
気温　:3日　18℃→20℃　4日　18℃→22℃
路面温度　:3日　22℃→36℃　4日　38℃→27℃
参戦車両数:GT500/15台　GT300/29台　合計44台

Press Release:2021.5.14



PACIFIC NAC CARGUY Ferrari

ポテンシャルの高い走りを見せるもアクシデントで25位フィニッシュ。

事前情報

開幕戦の興奮が覚め止まぬうちにRd.2富士が開催。今レースからFCYが試験導入されることになり、SUPER GTレースは新たな局面を迎える。
Rd.2からサクセスウェイトが適用されるが、PACIFIC CARGUY Racingは追加重量なしの走行となる。Rd.1岡山ではSCに泣かされたものの、ポテンシャルの高い走りを見せたFerrari。Rd.2富士での活躍も期待される。
予選日・決勝日共に天候に恵まれ、白雪をまとった富士の山が見守る中、2年振りとなった500kmレースの火蓋が切って落とされた。

公式予選：Q1



2021.5.3　PM14:30-PM14:40
ドライバー:ケイ・コッツォリーノ
気温　　: 18℃
路面温度 : 25℃
順位　　:Aグループ6位
Best Lap : 1’36.499
Lap数　　:5Lap
走行距離 : 22.815km

■ケイが渾身のアタック。Q2へ進出を決める！
3日（月）ノックアウト方式の公式予選。Q1ドライバーはケイ・コッツォリーノが担当。午前中の練習走行はマシントラブルにより走行が行えなかったにもかかわらず、車両のセットアップが功を奏し安定した走行を見せるケイ。そして4周目で渾身のアタック。1’36.499という今レースのベストタイムを記録。続けて5周目もアタックを続行し、セクター1で0.2秒削るもラップタイム更新にはならなかった。しかし、Rd.1岡山に続き僅差の争いとなった混戦状態の中、6位を獲得して見事Q1Aグループを突破してみせた。

公式予選:Q2



2021.5.3
PM15:23-PM15:33
ドライバー:木村武史
気温　　:18℃
路面温度:30℃
Q2Time　:1'38.646
Lap数　　:6Lap
走行距離　:27.378km

■快調な走りを見せるも16位でチェッカー
気温18℃/路面温度30℃、路面温度が少し上昇したコンディション。Q2ドライバーは木村武史が担当。コースイン早々にウォームアップを続け、順調にタイムを縮めていく。そして5周目に差し掛かったところでアタックに入り1'38.646を記録。続く6周目も仕掛け、セクター2で0.1秒削るが惜しくも1'38.692とタイム更新ならず。16位でチェッカーとなった。

決勝

2021.5.4
PM14:35-PM17:30
第1スティント:ケイ・コッツォリーノ
第2スティント:木村武史
第3スティント:ケイ・コッツォリーノ
気温　　:22℃
路面温度:38℃
Best Lap　:1'38.072
Lap数　　:100Lap
走行距離:456.3km



スタートドライバーはケイ。序盤から快調な走りを見せ、順位を着実に上げていく。30周程経過し、ピットイン車両が増えていく中、9号車は続走。44周目まで引っ張るも、ピットイン直前、マシントラブルによりガス欠症状が発生しマシンストップ。なんとかレース復帰するも、運悪く他車両の落下物によりFCYが導入。FCY中はピット進入禁止ではあるものの、燃料補給のためペナルティ覚悟でピットイン。ドライバーはケイから木村へ交代。ピットストップペナルティを60秒加算され更に後方となる。しかし不屈の闘志で走り切り、結果は25位でフィニッシュとなった。
トラブルとはいえ満足とは言えないリザルトとなったが、走行の随所でそのポテンシャルの高さが伺えた。トラブルの原因を分析し、次回の走りに期待したい。

PACIFIC RACING TEAM

COMMENT



神野元樹総監督
「練習走行時マシントラブルで殆ど走行が出来なかったにも関わらず、予選ではQ1突破を果たしてくれました。チームとFerrariの潜在能力の高さを感じました。今後が本当に楽しみです。決勝はトラブルにより残念な結果となりましたが、チームにとっては大きな収穫のあるレースとなりました。更に磨きを掛けて次戦に挑みたいと思います。応援有難う御座いました。」



木村武史選手
「マシントラブルで練習走行が全く行えませんでしたが、ケイ選手が力走してくれたお陰でQ1予選が通過できたのは良かったです。ぶっつけ本番ながら、自己ベストが出せたのは次に繋がる手応えを感じました。決勝レースはガス欠症状で勝負権を失いましたが、ケイ選手のペースも良く、私も目標ラップタイムに近付けたので、リザルトは不満でも走りは満足でした。GTタイヤのハイグリップとFerrari 488GT-3に1日も早く慣れることが大切だと感じました。」



ケイ・コッツォリーノ選手
「練習走行ではマシントラブルで走行できず予選に挑みましたが、無事Q1を突破する事ができてとても嬉しかったです。
レースペースも悪くなく、トラブルさえなければ十分ポイント圏内を狙えたパフォーマンスを発揮する事ができました。次回はフェラーリが得意とする鈴鹿なので楽しみです。」

PARTNERS

CAR GUY　RUF　NAKANIHON AUTOMOTIVE COLLEGE 中日本自動車短期大学　YOKOHAMA

SPONSORS

AUBE HAIR　PONOS　INSIGHT　TARGETSHIBUYA　OKAKIN GROUP　愛知電線 AICHI ELECTRIC WIRE
東邦ロジスティクス TOUHO Logistics　TOUHO　ASAP　KANAO CORPORATION　LIFE MIND ライフマインド　有限会社ナリーエンタープライズ NALLY ENTERPRISE INC. Valuable Information for you
Style Plus 名古屋　Ace's　新英金属　HOME PLANNER Group　G-PLUS　UMEDA GROUP　IMB
中日本氷糖株式会社　HOUSER　シンコーグループ 新晃薬品株式会社　Fujita Corporation　JI-C corporation　MEIKOH CONSTRUCTION ORNAMENT PAINT & WATERPROOFING